

創立44年



# 本町小だより

令和8年度4月号 令和8年4月8日(水)発行

和光市立本町小学校

Tel 466-0855 Fax 466-0894

Email:honcho@wako-city.ed.jp

児童数 315名

## 未来を拓く「本町プライド」の育成

—自ら動き、共につくる。児童が「主役」となる新しい学びのステージへ—

校長 木村 美香

### 1. 新しい春の訪れとともに

地域・保護者の皆様に整備していただいている本町小自慢の花壇の花が美しく咲き誇り、春の光が子供たちの笑顔を一段と輝かせる季節となりました。お子様のご入学、ご進級、誠にありがとうございます。

本日、希望に胸を膨らませて登校してきた子供たちの姿に、私たち教職員一同、身の引き締まる思いとともに、これから始まる一年間への大きな期待と高揚感を感じております。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

### 2. 令和8年度の学校経営方針：未来を拓く「本町プライド」

今年度、本校では学校教育目標「かがやく子（知）・ゆたかな子（徳）・たくましい子（体）」の更なる具現化を目指し、新たなキャッチフレーズを掲げました。

#### 「自ら動き、共につくる ～未来を拓く『本町プライド』の育成～」

これからの予測困難な社会を生き抜く子供たちにとって、必要なのは「正解を待つ」ことではなく、「自ら問いを見つけ、周囲と協力して解決策を創り出す力」です。本町小学校で学ぶこと、そして自分自身の行動に誇りを持ち、自らの手で未来を切り拓いていく。そんな「本町プライド」を、一年間かけて大切に育んでまいります。

### 3. 児童が「主役」となる学校への変容

中央教育審議会における論点整理でも示されている通り、これからの学びは「何を教えるか」だけでなく、「どのように学ぶか」が極めて重要です。

本校が目指すのは、児童が「受け身」から「主体」へと大きく変容する姿です。先生から教えられるのを待つ授業から、自らの興味・関心に基づき、探究し、表現する授業へ。私たちは、児童が「主役」になれる場を、教職員と地域が一体となって「共創」する学校づくりを推進します。

その過程で大切にしたいのは、失敗を恐れずに挑戦するプロセスです。子供たちが自ら考え、動き出す瞬間を捉え、それを称賛し、支え合える環境を整えてまいります。

### 4. 高い学力基盤を「生きた学び」へ

本校の強みである高い学力基盤を、単なる知識の習得に留めておくのはもったいないことです。その知識を社会や実生活と結びつけ、「これを知っていると、こんなに世界が広がるんだ!」「この学びが社会の役に立つんだ!」と実感できる「生きた学び」を展開します。

地域社会そのものを学びのフィールドとし、多様な専門性を持つ地域の皆様と触れ合う中で、子供たちの知的好奇心を刺激し、社会参画への意欲を高めていきたいと考えております。

### 5. 結びに「共創」のお願い

教育は学校だけで完結するものではありません。学校、家庭、そして地域が、それぞれの立場で子供たちを見つめ、互いの役割を尊重しながら一つのチームとして動くことで、子供たちは健やかに成長します。

本年度も、本校の教育活動への変わらぬご理解と、温かい「共創」の歩みを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。